

2023 年度



学校だより

スペシャル
臨時号
NO.2



令和5(2023)年4月27日発行

〒564-0038 吹田市南清和園町43番1号 TEL6382-6831

「NHKスペシャル」の放映について

校長 田淵 久美子

昨年度(令和4年11月24日発行)吹田市教育委員会と吹六小校長の連名で「テレビ局による『いじめ予防授業』の撮影への御協力について(お願い)」という、お便りを配付しました。

1年生の保護者様においては、この臨時号で初めて知る方もおられると思いますが、令和4年12月1日(木)～令和5年3月末日まで、NHKの密着取材が本校で行われておりました。(主に旧3年2組を撮影)

現在、編集段階に入っていると聞いておりますが、放映日等が決定しましたので、お知らせするとともに、再度、番組の趣旨や本校の取組みについて、お伝えいたします。

11月24日発信の撮影協力依頼文から抜粋

本市教育委員会では教育ビジョンに「いじめのない学校づくり」を掲げ、いじめ予防の取組を推進しております。この取組の一つとして公益財団法人子どもの発達科学研究所と連携し、「いじめ予防授業を市内全児童・生徒に対して実施しております。この度、NHKの番組である「NHKスペシャル」において、本市のいじめ予防の取組についてとりあげられることとなり、NHKより吹田市内の学校現場に密着して取材したい旨の依頼がありました。

本校が取材校に選ばれた理由

- ① 多様性教育を軸として継続した取組の実施をしていたこと
- ② 文部科学省委託事業「いじめ対策・不登校支援等推進事業」のR3年度研究協力校 R4年度研究推進校 であったこと
- ③ 「いじめ防止授業」(令和2年度開始)への取組の状況

「NHKスペシャル」放映日時

令和5年5月6日(土) 21:10～21:59(午後9時10分～午後9時59分)

HNK 総合1

担当ディレクターの思い(4月16日現在)

吹田第六小学校の「いじめ予防」の取り組みを取材させていただいているNHKの堤早紀と申します。このたびは私共の取材にご理解・ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

いじめの問題が連日のように報道され続けています。そのたびに、報道する側の人間として、子どもの命と心を守るために現状をどうにか打開する術はないか考えてきました。

取材を進める中で、欧米の教育現場では科学的根拠に基づいた未然の「予防」が主流になっていて、実際にいじめの減少などの効果をあげていること。そして、その欧米の予防プログラムをもとに、吹田市内のすべての公立の小中学校で「いじめ予防授業」が導入されていることを知り、取材させていただきました。

授業を通して子どもたちが自らはどうあるべきかを悩み考え、成長していく姿はとても尊く、私の方が学ばされることばかりでしたし、その成長は導いていく先生方の奮闘があってこそだということも感じてきました。

悲しいことですが、大人の社会にもいじめは存在します。そして、子どもたちの安心・安全で楽しい毎日を作るのも私たち大人、一人ひとりの役目だと思えます。

番組を見てくださったすべての方々気づきや学びを得て、一緒に考えていく機会になるよう、制作に励みたいと思っております。引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

NHK報道局ディレクター 堤早紀

視聴される皆さんへ 校長の思い

松下幸之助氏は(現在のパナソニック株式会社を創立)「人間は磨けば光るダイヤモンドの原石のようなもの」といわれました。

私も同様に思いますし、子どもたちは無限の可能性を持つ、社会の宝です。

6歳から12歳の小学生は、たくさんの人と出会い、たくさんの経験を積んで、たくさんの人や出来事とつながりながら成長していきます。仲間と喜び合うこともあれば、泣きながらケンカをすることもあろうでしょう。子どもたちはその都度、悩み、考え、自分の中で解決策を見つけながら、また1つ成長します。

とりわけ、いろいろな友だちと過ごす学校生活は、楽しい出来事やちょっとしたトラブル、放っておけば大きないじめにつながるかもしれない出来事も起こり得ます。人が感情を持つ生き物である限り、避けては通れません。だからこそ、私たち教師団は、その1つ1つの出来事を真摯に受けとめ、子どもたちとともに考え続ける存在でありたいと思っています。

「NHKスペシャル」では、旧3年2組の普段の様子も撮影されています。ぜひ、上記のことを心の隅に置きながら、観ていただきたいと懇願いたします。

旧3年2組の子どもたち24名「みんなちがってみんないい」のです。これが、吹六小、多様性教育のモットーです。

保護者の皆様、地域の皆様、どうぞあたたかい心でご覧ください。

校長 田淵 久美子